

みやぎ 街ひと話題

青森から転居、柴田在住の歯科医

「仕上げ」でチエックを 磨いて予防指導に力

に親身に接している。

この歯科医は、柴田町在住の小川雅敏さん(63)。弘前市で34年間、歯科医を続けてきた。昨夏に次男の匡仁さん(32)が仙台市宮城野区に開業したのを機に、宮城に転居した。現在は匡仁さんの歯科診

でも遅くはない。丁寧に磨く習慣が身に付けば、永久歯が虫歯になるのを防げる」と強調する。仕上げ磨きはおむね、就学時の前後まで続けるのが自安という。

診療所では子どもの歯の磨き方を中心に指導。「奥歯は

青森県から宮城県に移り住んだ歯科医が、予防歯科の大切さを地道に訴えている。子どもの歯磨きの最後に親が「仕上げ磨き」をすることでの効果が期待できる、というのが持論。「歯科医にとっては大変だが、歯科指導こそが一番大切なこと」と患者

療所の副院長として、歯科治療や虫歯予防の啓発に取り組んでいる。

小川さんによると、幼児の段階から仕上げ磨きをすることが、歯がきれいな状態を子どもが認識でき、歯磨きの習慣化につながるという。

「乳歯が虫歯になつた段階

小川さんは「治療を最小限に抑える」ことが自分の歯をいふつまでも長く残す大事なポイント。治療より指導の方が大切で、大人も定期的に健診と歯科指導を受けてほしい」と話している。

河北新報オンラインニュース
<http://www.kahoku.co.jp/>
仙台・宮城の広告情報
<http://kahoku.shufoo.net/>

ご購読申し込みは
0120-09-3746
7:00~19:00

オンラインコミュニティー
<https://kacco.kahoku.co.jp/>



日専連商品券
1000円分プレゼント!
新規入会・切り替えの方対象
かほビヨンくらぶ
LINK CARD
誕生日
かほビヨンくらぶ 懸念

ピカピカの歯



子どもの「仕上げ磨き」を指導する小川さん(左)

親子で守ろう